



汐見の和

横浜市立汐見台小学校
令和4年1月25日
学校だより2月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子
電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409
ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>

春はもうすぐそこまで

副校長 中西建介

立春も間近になり、窓から差し込む日差しが少しずつ目にまぶしく暖かく感じられるようになってきました。厳しい寒さが続いています、友達と心を通わせながら学校生活を楽しく過ごしている子どもたちの姿が見られます。

さて、1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われ、2月は1年の中でも日数が一番少ない月ということから、あっという間に逃げてしまうともいわれます。2月4日は「春が立つ」と書いて春の季節の始まりとされる「立春」になります。昔の暦では、この頃が1年の始まりであるとされていました。江戸時代の頃からは、2月4日の立春の前日を「節分」というようになったそうです。節分では「鬼は外、福は内」と言って悪いものを追い払い、よいものを招くという願いを込めて豆まきをしますが、最近では吉方を向いて黙って巻き寿司を丸かじりする風習も人気となっています。厳しい冬を乗り越え、暖かな春を迎える風習は地域によっても違いがあるようです。

この時期、私たち人間と同じように植物等の自然も春を迎える準備をしています。一見、何の変化がないように見える樹木ですが、よく見ると枝先にはたくさんの木の芽がついています。厳しい冬の寒さの中でも樹木はしっかり張った根から水分や養分を吸い上げ、幹から枝々に送り花を咲かせたり葉を芽吹かせたりする準備を着々と進めているのです。膨らみ始める木々の芽を見ると、暖かな春の訪れを心待ちにしているように感じます。子どもたちにとっても、2月は希望や目標をもって新たな年度を迎えるために大切な時期になります。1年生から5年生は進級に向けて、6年生は卒業・進学に向けて、それぞれの学年の仕上げをする時期です。約10か月間の学校生活で自分が頑張ってきたことを振り返ることはもちろんのこと、できるようになったことや成長したことを確かめていきます。そして、自分のよいところを伸ばし、新しいことにも挑戦しようとする気持ちを育てていけるよう支援していきます。寒い冬の間、しっかりと養分を吸収し春になると一回りも二回りも大きな花を咲かせる植物のように、子ども一人ひとりが自信を高め、さらなる飛躍に向けた準備を進めていけるよう教職員一同努めてまいります。今年度の学校生活も残り2か月になりました。ご家庭でも健康管理にご留意していただき、子どもたちが元気に登校することができるようお願いいたします。



現在、新型コロナウイルスの感染状況は厳しい様相を呈しています。1月21日より神奈川県もまん延防止等重点措置が適用され、多くの制限がある中で日常生活を強いられることになりました。学校では、これまでと同様に感染防止対策を十分に行ったうえで、内容や方法等を工夫して教育活動を進めてまいります。今後の感染状況等により学校行事等を変更・中止する場合がありますが、ご理解ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。